京城新報

京城新報

排日思想と日米の關係 (六)

於教育會本社長峯岸氏講演

諸君、此頃亦學童問題が起て來た、排日熱も亦熾になつてカリフオルニヤ州會に排日案が呈出されて八釜しくなつて居る、之に就て大統領ルーズベルト氏は州會に訓諭を發して曰く、日本移民は今將さに減じつゝある日本に居る米國人の數だけに日本移民は減ずるのである中央政府は日本政府と極て親交である排日案は中央政府の國交を害するものである故にカリフオルニヤ州會の排日案は發さず云々と、之れは實に巧妙なる外交である、若し大統領にして本氣に排日案を止めるの意あらば果斷の處置を取ることが出來るのである、果斷の處置を取らないのはル氏の眼の中では既にカリフオルニヤ人になつて居るのではあるまいか、ル氏が日本に對する考の中には常に日米何れか太平洋を支配すべきかと云ふことが蟠て居るのである、亞細亞貿易政策、太平洋の制海權此二つはル氏の最も焦慮する所である、之を以てル氏の外交は常に之に向て進みつゝあるのである、此二大政策は日米兩國の懸案問題である、

諸君、以上述べたる所に依りて排日の原因も日米の關係も略ぼ諒せられたのであらうと考へる、偖之より米國に於ける排日の結果が日韓の關係に如何なる影響を及ぼしたるかを考へて見たいと思ふ、一昨年カリフオルニヤ州に於て學童問題、排日運動の起りたるとき日本國民は非常に憤慨して時の外務大臣林董伯に向て外交の拙劣なるを攻擊したのである、林外相は甚だ之に避易して何とか國民に對して申譯をしなければならぬのである、折しも京城に於て日韓關係が一歩を進むるの時機に際したるを以て機措く可らずして林外相は急遽渡韓した茲に於て第二協約なるものが出來たのである、換言すれば日韓第二協約は米國に於ける排日運動の爲に國民より外交の拙劣を難詰せらるゝ所より斷行せられたと云ふても大なる過言であるまいと思ふ、之により國民の餘憤を和げたのである、顧れば米國に於ける排日運動は日韓の關係を進める動機となつた樣な感がする、今回起りたるカリフオルニヤ州の排日運動は日韓の關係に如何なる影響を來たすのであらうか、

諸君、以上種々述べたる如く何れの點よりするも日米兩國人は到底一致することの出來ない國民である、併し之は兩國の爲に一致せねばならぬことであるが乍遺憾一致することは出來ないであらうと思ふ、(完)

●輸送と隔日運轉

本月一日より連絡船隔日運航と共に變更せられたる京釜鐵道夜行直通隔日運轉は其豫想の如く旅客貨物の輸送に多大の不便を來し貨物の如き京城、平壤、新義州、安東縣等に托送しつゝある保税大貨物は毎船多數にして從來三輛の貨車を以て之に充てつゝあるも運轉隔日に減じたる今日となりては所謂其輸送力を半減したるの理にして即ち日に送達し得べき貨物は二日乃至三日を要するの始末となれり而して一面船便により輸入し來る貨物は續々輻輳するを以て止むを得ず鐵道當局者は鮮魚のみは晝間午前十時三十分發急行混合車にて輸送する事とせるも何餘の大貨物に在りては午前發混合車は牽引力足らずして其用を滿すに足らず餘儀なく急輸を要する貨物も見すく遲延せしめざる可からざるの不便を來せりと

文苑

●慈悲の母

竹頂生

「ナニ巡査が殺されたから十錢宛寄附しろッて、儂校の先生が言つたと篦棒な無わ秋ふれねェ」……小兒は悄然として斯ういツた父の顏を恨めしさうに打ち眺め時々傍に賃仕事をして居る母の顏を竊み見るのである、軈て父は一本の濁酒に醉つてか雷の如き鼾聲を發し仕事着の儘寢て了つた母は小兒を慰め「れ父さんは那のやうな解らず者セメて幾分でも一人前の人間に仕立てたいと思つて斯うして夜の眼も寢ずに他人の賃仕事迄して……ソリヤれ前のいふ通り餘所の兒が持つて行くのにれ前許り持つて行かないといふ譯には行かず……イヤサ心配れしでないよ、もう遲いかられ休み……」小兒は慈悲ある此の母の一言を聞いて寢床に入ツた、夜は大分更けたらしい室内はシンミリとしてランプの炎さへ絕へ〴〵である、稍ありて母は何事をか決心したらしく顏の色さへ俄かに變り密と四邊を窺ひながら仕立物を風呂敷に包む手先が震へて居る、手早く衣紋掻きつくろい風呂敷を小脇に抱むでフイと家をば出た…行く先きは何所であらう、れ蔭で小兒は其翌日母から十錢の寄附金を貰ひいつもに無く喜んで學校へ行つた



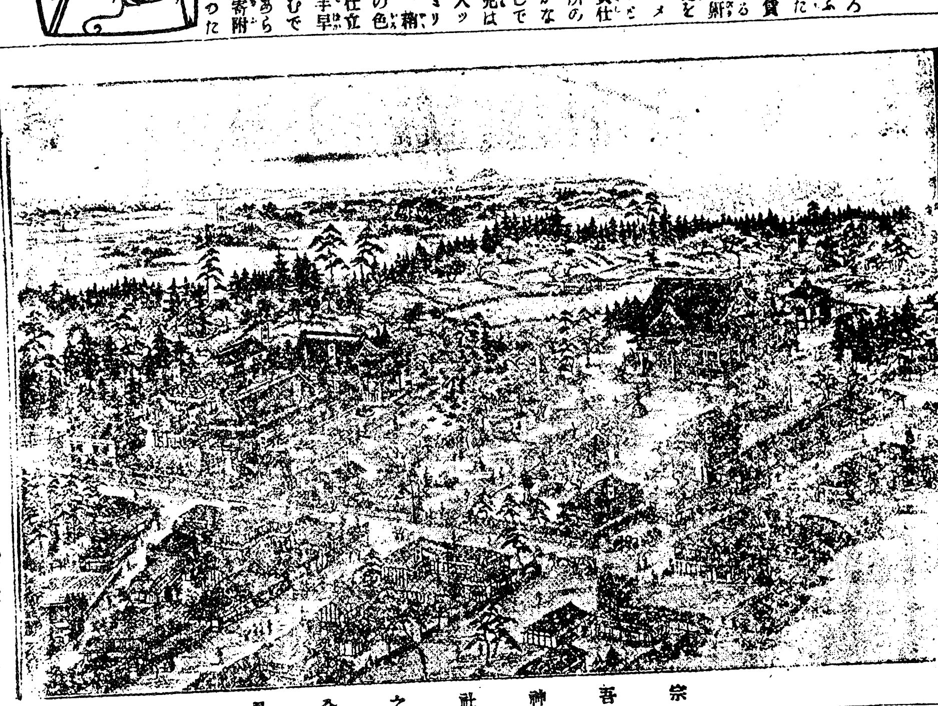
佐倉宗吾 (一)

異龍齋貞水講演

京城新報の御依賴により今日より佐倉義民錄の講演を致しますが、此佐倉宗五郎は、世にも名高き名主(現今の村長)でございまして、當今は宗五靈神と崇められ、日々に參詣の人が、神前に山を作すと云ふほど、德を遺された人でございます、此宗五郎が堀田家に於て、御處刑になりました原因は何處から起つたかと云ふ、此義民錄を申し上げますには、宗五の成敗を褒りました、堀田家の先祖から御話し仕なければ分らぬ

讀者諸君は誠に迂遠く御考へになるかも知れませぬが、一の講談をズッと聯闢して、御愛讀に共へやうとするには、始め終りを全ふして、成程こうであつたかと、御了解に成るやうに御話し申上げなければ何用にも成らぬ、近頃の流行として、斷と新聞を御覽になつて、一二回御目を通して、まだ面白い處へ往かぬ内に、直ぐに斷りや不良ぬと御止しになりますが、如何な佳い物でも、初めから不良ぬと云ふ頭で御讀みになると、面白いと云ふ頭で、頭から御讀みになるとは、大變な感じが異います、然るに講演者の内にも、一時の場當りを取るために、途中から話を切出す者もありますが、それが一度御讀みになつたり、御聞きになつた物なら、途中から演りましても、ア、成程、此處は斯うだと、御得心が往きますけれども、初心の御方には、途中から出た物は、御考へ惡いものでございます、併し決して京城新報の讀者諸君を、初心の御方と心得て申上げるのでございませぬ、只談話の首尾を全ふするため、初めは少し面白くないかも知れませぬが、順序として發端から御話し申し上げます、

天正十年六月十二日に、山城國山崎久我畷に於て、日向守明智光秀が、羽柴筑前守秀吉と對陣されまして、十三日の未明の頃ほひより、戰ひを始めましたのが、御承知の羽柴方、織田信長公の弔ひ合戰でございます是は同月二日都本能寺に於て逆臣光秀の爲右大臣信長公が弑せられたに依て此弔ひ合戰に及んだのでございます、明智方にては、假令三日たりとも、天下を掌握して羽柴方の大敗を引受けました、其時の明智方の先陣が丹州猪の口山の城主三萬石、齋藤內藏之亮利一、弟大八郎利次、伜稻賴母利光でございます、何しろ內藏之亮は技倆人にして兵學に通し、此時退遁奇の陣を敷きました、此退遁奇と謂ふものは、分れる時は三隊となり、合せる時は一隊となし、變化する時は長蛇の陣となるのでございます、乃で淀と八幡の藪陰に、我が舍弟大八郎を伏せ置きまして是は必ず筒井順慶が、洞ケ峠より裏切をするに違ひないから、決して油斷をするなと言ひ含め、其押へに殘して置いたのでございます、羽柴方の先陣は高山右近太夫、第二陣が中川瀨兵衞、第三陣が池田勝入齋信輝、第四陣は丹羽五郎左衞門、第五陣が神戸三七郎信孝でございましたが、朝の五ッ半頃から晝少々過ぎまでの間に、此五面の陣を總破らず打破つて仕舞ひました、其位の勢ひでございましたが、茲に筒井順慶の下に、島左近友之、松江右近と謂ふ二名士がございました、世にも聞へた智仁勇兼備の人でございます、それがもう羽柴方へ味方しなければならぬ、裏切をするのは此時だと云ふので、氣合を計りまして、淀の八幡の藪陰へ押寄せて來る、すると齋藤大八郎、柴田源左衞門の兩名が此處で遂に此島、松江の大軍を喰止め、大八郎は島左近と一騎討をして、島左近を一旦は組敷いたなれども、運命の盡くる時は致方のないもの、島左近の家來、松江軍兵衞のため後から斬られて、大八郎は討死、忽ちの内に明智方は敗軍となりました、此時齋藤內藏之亮は、主人を落して、齊龍寺の城から逃れさせ、其身は悽々戰場を切拔け、伜賴母を殿として、危く逃れたが、江州片田の浦に於て、終に縛捕となり、日の岡峠に梟首となりました。



宗吾神社之全景

謹告

昨曉近火の際は多大の御盡力に依り幸に類燒を免かれ候段深謝仕候混雜中尊名伺洩れも可有之候に付不取敢以紙上御禮申上候

明治四十二年二月七日

京城居留民團 民長 熊谷賴太郎

昨曉近火の節は早速御見舞を辱ふし難有奉謝候一々拜趨御禮可申上之處混雜中尊名伺洩も難計乍略儀紙上を以て御厚禮申述候敬白

二月七日 旭町一丁目 清水和平

謝近火御見舞 本町二丁目 文房具雜貨商 篠崎商店

謝近火御見舞 旭町一丁目 末廣軒支店 理髮業 松井すき

謝近火御見舞 本町一丁目民團役所前 佐々木事務所

謝近火御見舞 本町一丁目理事廳前 内科小兒科 池田小兒病醫院 電話八百八十番

謝近火御見舞

昨曉近火の際は早速御見舞被下難有奉拜謝候一々參堂御禮可申上筈に候へども混雜中芳名伺漏も難計乍畧儀紙上を以て御禮申上候

二月七日 南大門通二丁目 三好和三郎

謝近火御見舞

昨曉近火の際は早速御駈付御盡力被下難有奉謝候混雜中御尊名伺洩れも難計乍略儀以紙上御禮申上候

二月七日 南大門通り 牧野豐七

昨朝類燒の際は早速御駈付非常の御盡力に預り候段奉謝候混雜中御尊名伺洩も難計乍略儀以紙上御禮申上候

二月七日 追て本町一丁目小川事務所へ避難罷在候 安東病院

昨朝近火の際は早速御駈付御見舞被下難有奉拜謝候混雜中尊名伺洩も難計乍略儀紙上を以て御禮申上候

二月七日 本町一丁目理事廳前 藤隈旅館 電話三五〇番

旭町一丁目 九州旅館 中野藏吉 電話八三番

◉婦人良藥 子宮病血の道

月やく不順、產前、產後の諸症にて種々の藥を用ひ、其効なく御困りの人は中將湯を試みよ



中將湯

●如何なる難病も二三週間に全治す

●尚ほ詳しくは大廣告の御注意を乞ふ

定價 一日分拾錢 四日分卅五錢 一週間分六拾錢 二週間分壹圓拾錢 三週間分壹圓六拾錢

本店東京日本橋區通四町目 支店大阪天寶寺町堺筋南入

本舖 東京 大阪 津村順天堂 本店 支店

シガー・ブドウ酒・ブランデイー・洋菓子・菓物カン詰類

シガレット・シャンピン・ウヰスキー・キリンビール・タンサン水

卸小賣 歐米雜貨 洋酒食料品 洋煙草類 化粧品

直輸入商 京城本町二丁目 同三丁目

辻屋

本店 電話二四八番 支店 電話三六六番

流行の魁
新柄ゑり地帯あげ肩掛新調其他種々
京城明治町一丁目
ゑり徳商店

京城新報

統監の演說を評す

伊藤統監は一昨七日京城官民の慰勞送別會の席上に於て演說して曰く、「余は統監として過去三年間任にありしが効績としては何ものをも持たず諸君をして常に滿足せしむること能はざりしは余が淺學不才の致す所なり然れども余は誠心誠意以て力を盡したり乍併余が爲せし所は我政府の訓令及其廟議に從ひて爲したるものにして伊藤一個の考を以て爲したる者に非ず而して余の施設に對して反對論あり併し反對論は他山の石として之を採る何となれば反對論のなき社會は衰滅に陷入るべければなり然れども余は世の毀譽褒貶に就て更に顧慮する所なし余は一意上至尊に對して盡し奉らんとするものなり唯今日の日韓關係に於て時期と事情の許さゞる爲に諸君を滿足せしめざること能はざるは甚だ遺憾なり兎角物事は右せんとすれば左し左せんとすれば右せんとし意の如くならざるは是非もなし終に臨で京城在留諸君の大に發展せんことを希望するなり云々」と、之れ統監が演說の大意なり余は京城在留邦人は此演說を聽きて如何なる感を起したる乎、余輩は少くとも公が自己の政策に就て反對論のあることを悟了せられたるを以て一進境と認めざるを得ず併し公が毀譽褒貶に顧慮せずとは今回のみならず常に唱へらるゝ所なるが之れ大に誤れるの考に非ざる乎、公一個人に對する毀譽褒貶ならば敢て顧慮せざるも可なり、苟も帝國を代表せる統監の政策に對する毀譽褒貶は大に顧慮せざる可らず、怨讟は則ち公の政策に對する反對の聲なり、讃美の聲は公の政策に對する謳歌なり、而して公が兎角物事は思ふ儘にならず右せんとすれば左せんとすると云ふが如きは畢竟一の愚痴なるのみ、斯る變轉は韓人等の爲すことにして、苟も公にして鋭意斷せんとすれば何事かならざらん、公は亦た時期と事情の許さゞる爲に滿足を與ふる能はずと云へるが、开は最も誤れるの甚だしきものなり、時期や事情は既に過去の事に過ぎず、現在に於ては唯公の斷案を俟つあるのみ、然るを徒に拱手して時期を待つが如きは百年河淸を待つと同一なり、時期は統監たる公が自ら造出せざる可らず、天上より黃金の降下するを待つが如きは統監として職責を盡せる者と云ふ可らず、公が過去に於ける經歷に徴すれば往々一歩にして珠玉を拾ひ二歩にして金剛石を攫取するが如き意外の天祐ありたるが如し、然れども天祐なるものは常に來るものにあらず、若し夫れ公にして今尙は之を夢みつゝありとせば开は餘りに無邪氣なり公たるものは今は須らく自働的の活動によりて掉尾の効績を擧げざる可らず、要するに今回の演說は最も遺憾にして聽衆をして思はず同情を感起せしむるの力ありしなり、余輩も亦同情を寄與するに吝ならざるなり。

●一月の釜山金融　去月は陸續正月に際し……

漢城便り

●鳥の正に死せんとする其聲悲し、人の正に死せんとする其言良し、我執濟盛を凌ぎ借上韓氏に過ぐ、春畝公は一昨日の慰勞送別會に於て本心より出でたる眞に同情に値すべき好演說を試みられ申候之何の徵か。

●公が前例を破りて極めて眞面目に極めて謙遜に其所信を述たりとて公の辭職期若しくは死期が近きたりとの臆斷を下すは蓋し大早計ならんと被存候何となれば公の此頃の血色は中々に良く宛然良き血色の中には功名心も虛榮心も相應に潛み居り單に誠意誠心許りには無之ものと認らるゝが故に候

●有体に申せば余輩は公の在職中に於て半島問題の最後の解決を見んことを希望するものに候之帝國の爲なり、之公の爲なり公にして若し今日の儘にして去らんか他の何人が統監となるも公の妥執が常に相續者に附纏ひて到底最後の解決を爲さしめざるべしと信ぜらるゝが故に候。

●東拓總裁宇佐川氏が軍服帶劍にて乘り込まれたるは人をして[illegible]の感を起さしめたりと見ゆ目下坊間に[illegible]と相成居候如何に現職の儘なりとは劍を握るべき手に算盤を握るは營利會社の重役の所爲としては少敷本領の沙汰を外づれ居らずやと被考候株主杯より苦情の出で居る中に御改め可然と存候。

●序に申す東拓重役の登記には總裁副總裁監査役の氏名のみにして理事の氏名を逸し居候か同社にては理事を重役と見做さゞるにや如何

東京電報

▲三稅廢止討議　三稅廢止案は今日の衆議院本會議にて島田三郎氏質問し桂首相の答辯ありたる後三十六名の委員に附托せられたり（六日發）

▲三稅廢止決議　進歩又新成申各派の三稅廢止同盟會は昨夜會合し出席者百三十名ありて稅制整理の實を擧ぐるため三稅廢止の決議をなせり

▲首相總務會見　昨日桂首相と松田正久氏外三總務の會見は首相より製材所貸下、綿織物所得稅免除の賛成を求めたるも要領を得ずして別れたり（以上七日發）

▲政府と委員會　決算委員會は政府の決算に對し態度冷淡なるを怒り藏相出席の上說明を求むることゝなり若し出席せざる時は當分開會せざる筈なり（八日發）

雜報

●宮中の御陪食　別項統監以下隨行員御暇乞の爲め參內せるを以て韓皇には統監以下に宮中に於て御陪食仰付けられたり

●統監の御暇乞　伊藤統監は歸朝御暇乞の爲め昨日正午村田外波の兩武官古谷國分兩秘書官小山技師を隨へ宮中に參內せられたり

●昨日定例閣議　昨日の定例閣議に提出されたる問題如左

一、農商工部水產局官制改正の件
一、內部官制の改正（大韓醫院衞生試驗課土木局技監廢止、監督局定員增加）
一、民籍法
一、出版法
一、寄附金募集取締規程
一、度支部官制改正（鹽務に關する件）

●府廢止案否決　內部に於て各部と同一の性質を有せる府の名稱は此れを廢止するの議ありし事は既報の如くなるが假令郡と同一の行政區劃なるも多年の沿革を有せるものを俄かに廢止するの必要なしとの理由にて廢止案は否決せられたり

●立替金の說明　三日午後豫算分科（大藏）會に於て兒玉政府委員の答辯左の如し

韓國の立替金は來る四十四年迄なるが主として韓國の財政を整理する目的にて土地整理、鹽、烟草の財源調查費等に充てつゝあり四十四年度迄には略ぼ整理し得べければ同年以後は再び立替金を要求せざるべし又第一銀行兌換券發行に關しては韓國に於ける中央銀行に關する根本的研究中にありて近き將來に實行すべき企望なり云々

●民長官撰問題　民長官撰令の撤廢に關しては昨年十一月中民團議員の代表者伊藤統監に對し陳情する處ありたるも爾來統監は何等の答へをなさず而已ならず本月十日を以て歸朝する折柄日本に於ては此の問題帝國議會に提出され居る次第なれば當地民團議員の代表者和田、山口、中村、中島の四氏は一昨日午後伊藤統監を訪ひたるも統監に來客ありて面會するを得ざりしを以て古谷秘書官に對し昨年十一月提出したる陳情書に對し統監の意見を聽きたく尙右の陳情の趣意を達する樣盡力ありたき旨を望むため來訪したる趣を述べたるに同秘書官は今明日中に統監の意向を聞きて通知すべしと答へたる由にて一同引取りたりと云ふ尙當地に民長官撰令撤廢期成同盟會は一昨日衆議院議長其の他各派議員の重なる人々に對し議會に提出せられたる居留民團法中改正法律案の通過に盡力せられたき旨電報を發したりと云ふ

●統監德壽宮參內　伊藤統監は昨日午後御暇乞の爲め德壽宮に參內せり

●帝室債務の審査　度支部國有財產整理局は帝室債務に關する審査をなしつゝありて既に其の十分の七は審査濟となりたる由にて本月十二日に審査委員會を開き三月中には全部完了する筈なりと云ふ

●地方費規則決定　內部度支部間に交涉中なりし地方費規則案は交涉終了して確定案となりたるを以て近日の閣議に提出する事となれり

●慣行調查の進捗　民法編纂のため法典調査局に於て調查中なる全國の慣行調查は既に南部東部の地方を終了したるを以て近々より北韓西韓の地方の調査に着手する由にて六七月頃迄に終了し本年の暑中休暇に梅博士來韓民法の起草をなす由なりと云ふ

●司法警察官規則　法部に於て司法警察官執務規則の制定中なる事は既報の如くなるが既に審議決定したるを以て本日統監の承認を經て發布せらるべしと云ふ因みに法務院も同樣規則を制定すべしと

●離宮の位置問題　東萊に離宮設置の計畫あるは既報の通りなるが更に聞く所に依れば東萊城民と草梁民との間に其設置すべき位置に就て双方の[illegible]見あり前者は東萊城內に設置せんと云ひ後者は草梁に建設せんと云ひ互に主張して相下らざれば當局者は其位置の選定に就て大に困じ居る模樣なりと云ふ

●面長職制の發布　面長の職制を定め此れを官吏として待遇するの議ある事は既報の如くなるが內部より不日發布の手續をなす事と決定せりと云ふ

●拓殖顧問と調查　東洋拓殖會社にては幹部着韓の上は目下韓國政府へ招聘中なる本田農學博士を顧問として土地に關する調査其他の計畫をなさしむべき噂ありしことは既記せしが今回愈々宇佐川總裁と本田博士との間に於て既に其內約成立したりといふ

●韓人の民會設立　過般大邱郡西上面達城里達昌學校に於て姜士炳、崔處根、徐興均、李壽翰の起企に係かる民會設立會を開きたるか相會する有志者約百名臨時會長に擧げられたる徐興均は民會設立の目的として敎育の普及及び生命財產の保護、內外人の親睦を圖る方法等に關する演說ありて無事散會したりと

●軍司令官披露宴　大久保軍司令官は新任披露の爲め八日午後六時より京城ホテルに於て伊藤統監各大臣各參與官其他の勅任官日韓文武官五十四名を招待し尙本日は日韓文武奏任官のみ約百名を招待し新任の披露を催さるゝ由

●漁民の北韓移住　富山縣水產講習所々屬試驗船高志丸は技手田中榮定氏主任となり生徒多數乘込み元山沖より北は連湖東は新浦沿岸に於て角網大手繰を以て鮭明太を漁獲し傍ら移住漁村の選擇中なりしが聞く所に依れば富山縣廳は本年度に於て縣の補助金を以て同縣多數の漁民を北韓に移住せしむることに決定したりと云ふ

●宣敎師學部訪問　平壤に於ける外國人宣敎師及び韓人牧師八名は昨日午後二時より學部に俵次官を訪問し私立學校に關する說明を聞きたり

●東拓總裁の邸宅　宇佐川總裁の邸宅は愈々南山町二丁目中村再造氏の別邸に決定し昨日移轉せし筈なり

●拓殖員統監訪問　東洋拓殖會社の重なる社員は昨日午前十時統監を訪問せり

●統監の發程時日　伊藤統監には十日午前九時南大門發車仁川に赴かれ同地より軍艦吾妻號に搭せられ歸朝せらる

●公共團体取締法　近來各地方に於て民團又は民會等の名稱を以て公共利益を目的とする團体を設置せんとする傾向あるに付內部にては斯かる場合に於ては其團体の代表者を定め設立の目的及組織其他團体の規約等を添へ各道に在りては觀察使漢城府に在りては府尹の手を經て內部大臣の認可を受くべき旨不日訓令を以て發布する筈なりと

●桑苗購入好時季　內地にては桑苗の需用年々增加するを以てこれが養成をなすもの頓に增加し多大の桑苗を生產せるに一面に於て糸價不振のため養蠶者は多少手控氣味ある故か需用供給伴はず桑苗價格は大に下落し目下の處昨年の半價に過ぎざるの狀況なるを以て韓南地方の如き新起業地に於ては此機を利用し植桑するの最も利便なるべしとの事なり

●吾妻秋津洲入港　伊藤統監が來る十日歸朝するを以て其の迎艦として派遣せられたる軍艦吾妻秋津洲の二隻は本日午後一時仁川入港の豫定なるも仁川海戰五周年に相當するを以て午前十一時仁川に入港する機其の筋より打電したりと云へば多分午前中に入港すべしと

●統監軍司令官送迎會

當地官民有志者は一昨日正午より京城ホテルに於て伊藤統監の送別に兼ね大久保軍司令官の歡迎會を開催したり來會者は石塚總務長官事務取扱以下統監府員明石參謀長以下軍司令部將校各部次官以下高等官民團議員商業會議所議員新聞記者其の他有志者等三百餘名定刻に至るや別室に於て餘興の落語あり次で食堂に於て立食の宴を開き熊谷民長一同に代りて統監送別軍司令官歡迎の辭を述べ次で伊藤統監の演說あり終りに石塚總務長官事務取扱の發聲にて伊藤統監及び大久保軍司令官の万歲を各三唱し三時散會しけるが近時になき盛會なりき

▲熊谷民長の演說　統監閣下並に軍司令官閣下本日は態々御來臨を辱ふし感謝の至りに堪へませぬ顧みれば統監閣下が任に京城に任ることゝ爰に三個年此の間韓國は非常なる變遷を來たせし而已ならず而かも五百年以來容易に解決を見ざる凡ての問題も既往三個年に於て根本的に之が解決を見たるは吾れ人共に衷心愉快に堪へざる次第であります而して之が根本的に解決せし統監閣下の功績の偉大なることは[illegible]りませぬ外に今回韓皇の南北行啓は實に空前の盛事に屬せり此の時に際し統監閣下が寒威を冒して親しく韓國の狀況を視察し至る所日韓人に對して有益なる訓言を爲し偉大の印象を與へられたる勞苦に對しては吾々感謝の外ありませぬ即ち爰に送迎の宴を張り聊か慰勞の微意を表する次第であります

▲伊藤統監の演說　京城在住の諸君が予の歸朝の途に上らんとするに當り特に此宴を設け慰勞の厚意を表せらるゝに就ては衷心より深く感謝の意を表すと同時に又軍司令官新に來任せられしに就て大久保大將新任に就き諸君が擧て歡迎の意を表せられ今後同大將の盡力に依賴せらるゝことは自分も諸君と同感を抱く所なり若し夫れ本官が參年間任に此地に任り微力を致したることに至りては唯自分は誠意誠心を以て日韓兩國の爲に兩國の關係如何に顧みざるを期し自ら我至尊の大命と我廟議の時々受くる所の訓令に依り其職務を錯らざる所に違はざらんことを孜々として努めたるに過ぎず人は各々其見る所を異にするものなるが故に或は不滿足も多かるべしと豫期す之れ自分の淺學にして且つ不才なると又一面に於ては時機事情の盡さゞる所より諸君を滿足せしめ能はざるは遺憾とする所なるが自分は微力の及ぶ限りを盡したることなれば自分に取りては遺憾とする所なし只今民長の陳られたる如き功績ありと云ふが如きに至りては更に念頭に留むる所に非ず唯已の及ぶ所を盡し至尊の恩遇に酬ひ我日本の廟議に背かざらんことを期し同時に韓國上下の爲に我等の居住する此韓國々土の爲に至誠を以て之に臨みたるのみ諸君の滿足すると否とは予の問ふ所に非ざる所なり強て人意を迎へんと欲せば右の希望を達せしめん歟左の望に違ひ左の望に副はんと欲せば右の希望を達さしむる能はざるの始末に陷らさるを得ず之れ古より如何なる明君も多少反對の聲無き能はざる所以なり反對の議論無き社會は必ず衰滅を免れざるを以て自分は反對論に對して怨言を稱ふの必要を認めず反對の議論は却て他山の石として已の及ばざる所を補はんと欲するものなり予等が微力に對し今日の盛宴を張られ不日歸朝を送らるゝに就ては深く諸君の厚意に感謝す大久保司令官は新に任務に就かれたれは諸君と初めての面會なり司令官の任務に就ては任に臨むの前に於て我陛下の聖旨を拜承せられ軍事當局の訓示又は之れと協議したる事項に就ても深く服膺せらるゝことゝ認むるを以て將來の遺算なきを信して疑はず諸君が司令官を歡迎せらるゝに就て定めし司令官は諸君に對して一場の挨拶を致さるべし自分は茲に重ねて諸君の厚意を深謝するの外多言を陳ふるの要なし諸君が各々其事業に從事すると共に其の益々盛大ならんことを希望して止まず云々

次で右統監の演說終ると共に大久保軍司令官は故ら簡單に謝辭を述べられたり

●龜山理事官入京　龜山釜山理事官は昨夜著の京釜列車にて入京せし筈

●山邊課長の出張　山邊法部職員課長は一昨夜出發大邱釜山地方視察の爲め出張す

●岩佐理事の入京　岩佐東拓理事は來る二十日入京の筈なり

公人私人

▲齋藤大佐（統監府間島出張所長）　本日午前九時歸任
▲安東義裔（東拓會社調查役）　一昨夜入京
▲木村英俊（同　上）　一昨夜入京
▲小室龍之助（同　上）　一昨夜入京
▲大橋重省（同　上）　一昨日入京
▲恒吉少將　一昨日入京天眞樓へ
▲土方大尉　同上

●近事片々

▲東拓總裁以下着城し將さに事業を開始されんとす衆目擧て東拓の態度に注目せり
▲東拓重役の顏觸れが余りに役人本位なるを以て前途を危ぶ者少からず之れ至當也
▲而も創業の際から金貸的態度を採ると云ふに至ては何人も感心仕らぬ前途氣遣し
▲何事も創始の時代多少放膽的に遣らざれば効を奏するものに非ずとは全く也
▲斯る怯懦なる考を以て事に當らば帝國が東拓に期待する所は容易に遂げ得られず
▲利益を擧ることは素より忘る可らざるも帝國の大陸發展を標目とするが最も肝要
▲滿鐵の失敗も多く重役連が役人上りで實務に通せざるより來る東拓も之を鑑みよ
▲殊に拓殖の如きは役人連には向が惡るし其經營を誤りて後悔せざれば最も幸ひ也
▲重役たる者宜しく着眼を大にして余りにコセツカヌ樣にすることを切望する者也
▲大朝の天聲子曰く伊公の京城に於ける演說を評して皮肉の所面白し故に拔摘せん
▲韓國人口は公の精查によると九百七十八萬余しかない人口は國の本困つた者だ
▲天聲子曰く何が困るか一日も早く日本人斗りにしたいと思つて居るにと甚だ痛快
▲亦曰く實力を養て立派な國にならねばならぬとは御世辭にも程があるとは甚面黑し
▲立派な國になるには日本に依賴するがよい位に云ふべき處だとは言ひ得て最妙也
▲米國チヴアタ州知事ジヨツカーソンは一人も殘らず日本人を排斥すべしと放言す
▲彼等の放言意に介するに足らざるも霞ケ關の野呂サ加減は最早呆れて物が言へぬ
▲大統領の聲言や國務卿の聲言に依賴しつゝある間に排日運動は益々火の手が上る
▲外相の演說も事實の反證でメチヤ〳〵
▲御用記者蘇峰氏米國風向の惡しき爲に例により堅白異同の辨によりて辨護せり
▲曰く半億の人口を無暗に分散するは得策に非ず滿韓に集中するを良策となす也と
▲之れ蘇峰氏が滿韓の現狀を見ざる所より斯る言を爲すに過ぎず辨護も亦窮せる哉
▲若し政府が全く滿韓に集中する考ならば滿韓の移住民政策を更に一張する要あり
▲新參の鳩山和夫氏院內總理ぶりは他の外に見上げた者之れ政友會に人物なき證也

……島第一銀行支店に……より實施したるに何等故障なく豫定設計の……菜專門家の觀……よれば万頃江流域に關す……にして內水田一万四千八百五十九町歩、畑……

●七代目芳村伊三郎（八）
▲藝術修業の困難

▲部屋内の言葉 昔は部屋内は至つて御幣擔ぎを爲た者で、言葉遣杯も隨分妙な事を言つた者だ、即ち掃く事を采配、ハタク事を拂ふ、禮金をつる杯と言つた、又此時分ははやし方は隨分威張つた者で如何な俳優でも、はやし部屋の前を通る時は當日はお目出度と挨拶を爲して通つた位だが此習慣は明治十一年頃に止めて仕舞た

▲布哇王の天覧 明治八年頃當時の布哇國帝王が御來朝になつて新富座の看物をせられたが、場内は土間に板を張り詰め紅白の布を敷詰めて裝飾を凝らし藝題は八陣と二人腕であつたが一座の猿若が病氣で其替りを勤むる者がない、其處で彦三郎が大に怒り猿若の役は悉く俺れが引受けると言つて引受けて仕舞つた、是迄は彦三郎は隨分舞台でも巫山戯た事を爲て居たが、是より前は全く異つて彦三郎の技藝だけは眞に批難の打ち處なく、遂に東西を通じて彼れの右に出づる者なしと迄云ふに至つたのだ、御覧の芝居は前記の通り彦三郎が大車輪で勤めた爲めに頗る御意に叶ひ、猩々緋の幕に布哇皇室の紋の入つたのを送られた

▲道成寺と車曳 此年の春の芝居で道成寺と菅原の車場を出した、彦三郎の菅公、猿若の松壽、左團治の梅王と宿彌太郎、納昇の櫻丸、秀調の立田、菊五郎の判官代と云ふ役割であつたが初々は道具杯が不揃の爲め夜の二時に果てた位であつた、此時分は中々道具が不揃ひで明日初日と云ふ行燈を五日も七日も出して、はやしの方は總ざらへが濟んでも中々初日にならない、今日と違い隨分呑氣な話であつた

●本日の仁川デー
▲海陸兩方の盛觀

今九日は今を去る五年前即ち明治三十七年日露開戰の序幕が仁川沖に於いて開かれたる尤も紀念すべき日に相當するを以て仁川市民は毎年此の日を仁川デーとして海戰紀念祝賀會を催し來れるが本年も例年の通り仁川市民は一般に大祝賀會を催す筈なり

▲晝間の光景 海上に於いて我第二艦隊吾妻秋津洲の兩艦は本日午前十一時仁川に入港し以て五ヶ年前の戰捷を追懐せしむべく又陸上にありては信夫理事官、富田民團長等發起となり仁川倶樂部に於いて一大祝賀會を開催する筈なるが同會は仁川市民全階級に亘りて祝意を表せしむる趣旨なるを以て會費の如きも一圓五十錢の少額となしたりと云へば定めて盛會なるべし

▲夜間の光景 仁川民團にては戰捷當時を追想すべく毎年海岸一帶に篝火を焚き來れるが本年も其の例に慣ひ仁川稅關波止場より日本公園下に至る海岸一帶にて數十個の大篝火を焚き徹宵當時の光景を描寫する筈なり又海上に於いては吾妻、秋津洲の兩艦は全艦イルミネーションにて瀰飾する筈なりと云へば陸上の設備と相俟つて盛觀を呈すべしと

●月と花（一）　魚遊痴史

▲井門樓支店 照す月枝の色鮮やかに 花の浪枝に映つる影
▲月下樓 家計ら富勇此の妓が寶 藏に米吉たんと積む
▲松榮樓 賀辭の勇さく千代壽の 目出鯛今宵のれ玉盃
▲高島屋 こゝろ安子の待遇振に 嫖客を鶴子の凄い腕
▲南山樓 別れの朝妻時移り香の 匂ふ千代菊いつ迄も
▲大桝屋 竹葉慕ふて來るむら雀 嬲さだ子のなじみ客

●六人組の強盜逮捕
▲内一人は女強盜

仁川栗木洞の豪家某方へ舊正月二十五日六人組の韓強盜入り來り家人を脅迫して金四百圓を強奪し去りたる以來同方面より牛角洞方面に常に右強盜徘徊し武力にて脅せる玩弄物的の短銃を示して良家を脅かし夥多の金品を掠奪するあり仁川警察署韓人刑事等は其の強盜を一日も早く縛せんものと栗木洞及び牛角洞に出張して其の在所を探り居たる所再昨日栗木洞に於いて黄元先（四一）張貞實（二二）張既八（三九）張基承（三八）申學賢（二二）の五名の外に朴召史と稱する女強盜をも縛し直に仁川署に護送したるが其の罪狀は目下金警部の手元に於いて取調中なり

●花は紅柳は緑

一夜の情につひ絆されて頼み無き身のしみ／＼と嬉しき首尾を重ねてからは耻かしながら旦那のことが明け暮れ胸を離れず厭な座席の勤さへ今暫しの辛抱とじつと耐へて月日を送る中丁度去年の三月末旦那といよ／＼妾をば身受けし與れ大枚一千圓の前借金は耳を揃へて旦那の手より主人へ渡されたればやれ嬉しやと立派に足を洗ひ昨日に變る丸髷姿に人目の外前も耻かしく宿の女房とはなり濟まし當座は花嫁の身の何の恐るゝこともなきがまゝに今日は東京明日は鎌倉と物見遊山に日を送り居る中會者定離とやらの諺通り旦那は五月の末つ方ふとした病が原となり其のまゝ重き枕に着かれしが最後醫者の手當も看護の力も其甲斐なく終に彼の世の人とはなられにき其の時の妾しの愁嘆は殆んど譬ふるに物なく折角緣あつて藝妓稼業の時代より御贔負を受け果ては夫婦の契りへ結びし間柄天道様は情ないそれに連れ添ふて互に夫ちややと女房ちややと言ひ替はしてまだ間もあらせず何の因果か之も前世の約束かと其の當座は三度の食事さへ喉に通らず泣いて許つかり日を送りけるがそれにつけても其の家の舅さといふが頑固ものにて屢々妾しに向ひ『たとへ悴が在世なればとて素性も知れぬ賤しき婦は宿の嫁御として汚らはしく幸ひ悴が亡き後は何も園田家に對して用事もなき筈なれば今より何れへなり出て行つて貰ひたし』との情なき言葉を聞くにつけ胸は張り裂く思はすれど舅殿の言葉なれば何の答へ辨も出來ず終に妾しは手切金百圓を園田家より貰ひてすつぱりと關係を絶ち實家へは歸りたり（つゞく）

●逃亡娼妓の取押

長崎縣長崎市八幡町七十六番地平民永村トク（二二）は昨年六七月頃大連大阪町西田鶴藏方へ前借三百餘圓にて娼妓に住込みたるに當時同地に居住せし福岡縣山門郡沖端村十九番地無職藤吉竹次郎（三四）と深く馴染み本年一月十五日兩人手を携へて同地を逃走して仁川に上陸し三四泊の上當地に來り旭町三丁目料理店東京庵事村上香吉方へトクは相浦ハナ、藤吉は相浦金治と僞名なし潜伏し居たるを去る六日南部署巡査の發見する處となり目下同署に留置

●金を横領した奴

岡山縣上房郡高梁町大字新町當時京城本町九丁目居住菓子商藤井庄太郎（四十）は昨年五月頃京畿道水原府南大門通醫師佐々木多郎より金錢を横領なし同地を逃走したる者なるが本年一月廿日當地に來り前記の所に潜伏なし居たるを南部署に於て發見し一昨日引致されたり

●旭町出火の火元

過日旭町の出火の火元に就ては桶屋商澄川藤吉と溫飩屋飯田凉一郎との間に其の爭ひありし事は既報の通りなるが南部署に於て取調の結果愈々凉一郎が火元なる事判明し昨日檢事局へ告發されたり

●桐原警視の美擧

此程旭町出火の際消防に盡力中負傷したる居留地第一部消防小頭日田嘉吉氏に對し南部警察署長桐原警視は昨日金品を贈與し其功勞を附したり

●材木泥棒捕はる

鹿島縣日置郡串木野村字串木野當時京城西小門通某韓人方同居下江金太郎（四〇）と云へるは本年一月卅一日及び二月二日の兩度に大和町二丁目に置きある初音町二丁目吉田嘉作所有の長さ二間の松丸太五本を竊取したるを發見し一昨日明治町三丁目に於て逮捕さる

●商戰紀念繪葉書

仁川海戰五週年は本日に相當するを以て仁川澁川繪葉書店にて五週年紀念のスタンプ押捺の繪はがきを賣り出せり



新俳優　三輪寶

●演藝だより

▲歌舞伎座 は眞劇合同團一行にて愈本日開演の筈にて藝題は「深山の美人」全七幕にして役割左の如し 今野小才次（三輪寶）新聞記者輕井口雄（西萬兵衞）奥山綾羽（池田二郎）もぐり鍋（稻葉喜久雄）今野小才次妻れ牧（上田榮）

▲今紫一行 は本日仁川に乘込み明日初日を打つことに決定せりと

▲永樂亭 は落語、義太夫、講談等にて價の安い爲め毎日好景氣なるが、本日の出し物は左の通り 新講談出世太功記日吉丸生立（赤圓）義太夫卅三間堂棟由來（梅笑）講談梁川庄八傳（倭吾樓）曲藝ステヽコ（遊七）義太夫八陣八ッ目正清本城塢（大之助）落語（三遊亭遊七）

●公判だより

法務院に於ける來る十日の公判は刑事（午前十時）にして藤川健市外一人の竊盜事件なり

◀平民文庫▶

▲六日の大韓日報に於てガキヽヽヽヽヽヨリ欄に於て韓人部落住民君は吾人の言はんと欲する所を喝破せられた願くは各交番、憲兵屯所前位には非常報知の設備をされんことを此れ當局當然の義務であらふ（温突住民）▲御用聞小僧君は姦通者名簿を作成せられて居る相ですが私は未だモット必要なものを持つて居る即ち不渡手形を發行する人の姓名である差上げませう（一商人）▲姦通者名簿は頂戴せぬ方が宜しいと思ひますから斷りします萬々一粗漏なれ調べであつたら徒らに他人の名聲を損する計りであるから、不渡手形を發行する人の姓名簿は頂戴したい（係り）▲貴紙御掲載の小說「五月闇」は新紙の配達を待ち兼ねる程ど愛讀せしが本日の大團圓には驚き申候假にも偵探家として警察沙汰とは何事ぞや家弟澁川の如何に感ずることよ今少しく作者の一考を望む兎角龍頭蛇尾は數の免れざるものか噫（失望生）▲私は三年前から子宮病にて困つて居りましたが貴新聞の廣告を見て早速救濟院の催眠術療を受けました所僅かに三回で全く癒りました同病にて困る御方にお知らせ致します（壽町生）▲松介の大勉強には驚いた如何に商賈とは云へ電話で注文したら僅か四人前の天婦羅を遠方の私方迄持つて來て與れました際で溫かいやつを寒ひ思ひをせずに食うことが出來た（西小門通感謝生）▲記者さん壽町の○○商號と云ふ雜貨屋の計略御存ですか大分困る人が出來ましよね（用達小僧）▲何う云ふ計略かれ聞き申さぬ中は名を書くことは出來ませんから以後は其のた積りで御投書を（係り）

●天氣豫報（自八日午後六時至九日午後六時）

晴後曇

五日 最高溫度（華氏）一六、三 最低溫度 八、二

八日午前六時各地氣象概況 高氣壓に被はれ一般に風力弱く中部は曇天其他は晴天なり

吊慰金義捐者 故山本警部

一金貳圓也 京城西本願寺

通計三十七圓七十錢也

廣告

近火の際は早速御駈付御盡力被下奉拜謝候一々參堂御禮可申上之處乍略儀以紙上御禮申上候

旭町一丁目 食料品雜貨商 山田屋

京城歌留多大會收支報告

一受之部 金六十七圓也

内譯

金五十九圓 會員百十八名分
金五圓 峰岸會長寄附金
金三圓 京城新報社員某氏寄附金
合計金六十七圓也 總收入額

一拂之部 金六十七圓也

内譯

金四十八圓七十五錢 辨當百二十五個代
金二十四錢 名刺紙二百枚代
金二十二錢五厘 奉書紙十五枚代
金三十四錢 下足札二百枚代
金二十錢 玉糸二ヶ代
金七圓八十錢 賞品代
金二十七錢 リボン九尺代
金二十錢 針二十本代
金五圓 標準歌留多十組購入代
金三圓四十七錢五厘 看板代及下足番二名手當 決算報告二百枚來會者へ配布用として印刷代
金五十錢 總支出額
合計金六十七圓也

差引なし

右の通り報告す

松岡四男 高木久馬太

木炭荷着

本品は弊店産地に於て永年經驗の結果當京城に於て販賣部を設け卸小賣共極安價を以て賣却可仕殊に諸官衙納品等澤山御入用の節は特に御勉強可仕候間多少に不拘御注文被下度奉願候

米穀石炭薪炭商 諸官衙御用達
永樂町二町目 今福商會
開城西部 同出張所
京城旭町一丁目 同貯炭部

購賣廣告

一 磨擦精米 百拾七石 但明治四十二年三月十日釜山海岸ニ於テ受授

以上入札保證金見積價格百分ノ五以上（圓位未滿切上）入札者ハ二ヶ年以上引續キ其業ニ從事シ居ル旨證明アル者ニ限ル

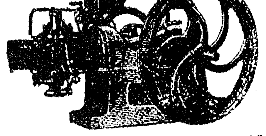
右購買ス入札希望者ハ本月廿五日迄ノ執務時間内ニ在龍山韓國駐箚陸軍倉庫ニ就キ入札心得書契約書案及標本等熟覽ノ上二月廿六日午前十一時限リ當倉庫ニ入札スベシ即時開札ス

但書留郵便ヲ以テ入札スルモ妨ナシ

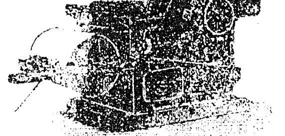
此契約ハ韓國駐箚陸軍倉庫長土屋善鶴擔任ス

明治四十二年二月六日 韓國駐箚陸軍倉庫

●點火石油發動機



安西式製綿機各種



[illegible]

新案特許 製造發賣 安西商會 大阪西區松島町二丁目（東雲橋南詰）

同 安西支店 同町千代崎橋西詰

開業

ゴム印諸印章彫刻及石版印刷 廣告の爲め特にゴム印はアルミニューム式赤色ゴムを用い木印同一の價格にて大勉強仕候

京城旭町一丁目歌舞伎座前 武田耕玉堂

西洋料理
東京高輪壽し
會席料理
丼類いろ／＼
折詰辨當
同サンドーウヰッチ
南大門停車場構内 エーテー鴻田 電話六八七

京城壽町一丁目 牧野旅館（長電話三十九番）

製造發賣元 丹善商會

●大山式無點火石油發動機 我國工業界の一大進歩

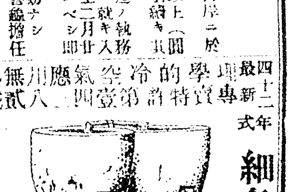
●本機優秀之實力

冷空氣應用擦熱を防止する爲め搗減變味の弊害を防除し其本能特長は他に比を見ざる四十二年式なり殊に精麥に至ては水氣ノ麥肉に浸さず二十分間に搗揚げ乾燥するが故に雨天も雛も腐敗の恐れを折らず

本機は製造堅牢にして完全に要點を具へ效果は精米家及酒造家諸君の世に大に成功を擧げられし

四十二年最新式 細名式精米麥機

理學的冷空氣應用無熱 專賣特許第[illegible]號



（動力掛百三十圓）（水車掛百四十五圓）

●櫻組高等靴は歐米最新スタイルを調和し常に時好の顧客たり

●櫻組特製靴は材料を精撰し耐久と優美とを兼ねたる實用靴なり



東京市麴町區八重洲町一丁目一番地 合資會社 櫻組製靴部 電話本局三一六三●三一六四

新案燃料 用燃料
無烟煉炭
特色 火付善く火力耐久價格低廉
用途 家庭、鍛冶、暖爐、竈用に適す
●…周防徳山海軍省煉炭所東隣
谷口無煙煉炭工場
京城特約店 京城清國領事館通 電話六〇三番
巴商會
韓國一手販賣 京城太平町二丁目
神田組

▲無料紹介欄▼

人事部

求事業家 確實なる事業にて年十百圓以上出資し得る人を求む 純益あり金五 旭町一の六十 京仁商會(一六三)

求妻 知人年三十五歳品行方正身体健全月收百圓餘三十前後にして普通教育ある婦人を望む 旭町一の六十 川村(一六四)

韓語速成教授 本町六丁目六五韓語速成講習所(一六五)

十九高等小學校及補習夜學卒業如何なる仕事にても不苦成だけ給料の多きを望む 姓名在社(一六七)

履歴書 法律事務に心得あり年齡二十三歳 在社(一七〇)

簿記に心得あり會社官廳を望む年齡二十六歳 履歴書 在社(一七二)

物理學校及中學校卒業の者數學物理日語教師に被雇度地方行にても宜敷俸給不論 姓名在社(一七三)

物件部

貸家 龍山停車場前十五間道路筋新築表口三間奥行四間瓦葺二階家疊建具一切付用水の便あり龍山停車場前 電話四九島田(一四五)

貸間 二階八疊及び十疊何れも床付き紳士向き食事付き又わなし 龍山停車場前 電話四九島田(一四六)

貸家 龍山漢江通り三丁目十五間道路一等場所にて間口三間總二階附 京城明治町一丁目 ゑり德(一五〇)

商店 向貸家徂平家造作付間口三間店土間五坪六疊一室裏空地十五坪家賃二十三圓 永樂町二赤門前 岡(一五六)

土地 南山町二丁目南山麓眺望絶佳約三百坪割貸又は賣却何れ共御相談に應ず 永樂町二丁目 岡内(一五七)

測量用「トランシット」脚附一臺 一十二磅經便レール四十七チャイン右賣却したし御入用の方は下名へ 南山町一澤田館 小谷(一五八)

瓦葺二階建新築家屋上六疊、三疊下三疊、六疊敷温突付外押入れ所臺所あり疊建具一切完備床及玄關付紳士に向適當なり 南山町一丁目 清島三吉 電話八三五(一五九)

貸間 二階六疊二階床間押入付 至急貸したし 本町五 月の家(一六〇)
電話至急買受けたし 旭町一の六十 京仁商會(一六一)

雜貨 見切品見世仕器品及諸道具其他不用品何でも買入ます 旭町一丁目 旭町競賣所(一六二)

賣家 大和町三丁目遊廓裏道川端地坪約五十坪瓦葺平家造作付四軒建長家 井戸付屋敷賣却致度 赤門 岡(一六八)

貸間 旭川便利の場所に賄付上等貸間あり高等官亦會社員向御希望の方は 電話六五九番に御紹介被下度候(一六九)

貸家 若草町一、温突一間疊敷二間日本流押入二個付外に炊事場玄關付家 賃十三圓半 若草町一ノ一二九矢島(一七二)

貸家 若草町一ノ温突二間疊敷二間日本流押入付外に炊事場玄關家賃十三圓 若草町一ノ一二九矢島(一七三)

廣告

▲清潔の下宿▼
客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候
壽町二丁目十番戸横小路
(元花屋跡)
かめ屋
▲懇切の下宿▼

商標 元祖
S
滋養菓子 朝鮮名產 人蔘煉製飴
定價 大函七十五錢 中函五十五錢 小函四十五錢
京城 鳳炮堂
日本への土產としてよい菓子
この商標なきものはにせもの
發賣元 京城龜屋商店 同松屋商店 同龜屋支店 同大西組 同大和軒 同眞島寒水堂 仁川潁原商會 同井上和商店 平壤龜屋支店 安東縣龜屋支店 水原中島商店

●土耳古煙草直輸入大販賣●
本社ハトルコ最大ノ製造會社ニシテ其製品ハ原料精選其風味ハ良好無比ナレバ夙ニ世界各國ニ最多ノ輸出ヲナシ好評ヲ以テ迎ヘラレツヽアリ卸小賣トモ廉價ニ販賣仕候
京城本町四丁目角 デーヱス、パチリス會社出張所
仁川港本町通 仁川代理店 潁原兄弟商會

移轉謹告
謹啓寒の候各位樣益々御清榮奉敬賀候陳ば弊店今回都合に依り左記の所に移轉し從來兼業の雜貨部を廢し綿布類一式卸賣に專心全力を盡し大阪支店に輸出部を設置し織物税は之れを省き非常に廉價を以て廣く各位の御需用に添はんことを期し候希はくは弊店新進の勉勵御試買旁々多少に不拘御用命の程伏而奉願上候 敬白
追て遠方書狀にて御注文の際大凡見積り金を送付の方は荷物送付の運賃は弊店負擔可致に付精々御注文奉祈上候
京城旭町一丁目百十八番地
(日の出湯より七軒目上る)
大伴京城支店

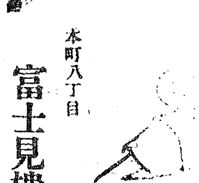
明治廿年創立資本金一千萬圓
日本國火災保險業の嚆矢
東京火災運送保險株式會社
代辨店 山口吳服店
事務所 京城本町二の三電話九番

●移轉廣告

免許
催眠施術
無催眠治療
無催眠治療藥の固疾を全治す
無催眠治療藥を用ひず催眠術を施さず腰きも數回の治療克く數年
(注意)無催眠治療に適する諸症左の如し
子宮病 ヒステリー 眩暈 胃病 月經不順
氣鬱 便秘 齒痛
京城若草町一丁目八十七番戶ノ七
若草町一丁目藤田雜貨店東へ入ル二軒目門內櫻井町櫻井湯西へ入ル第二發生醫院隣
弘濟療院

▲轉宅荷物運搬
(京龍間)建築土木材料其他諸貨物の運搬及び人夫請負
弊店儀今般右の營業を開始仕候に付ては貨物の多少又は土地の遠近に拘はらず御報知次第直ちに店員を派出して御用命に應じ可申尚は弊店に於ては萬一御委託物に對し店員の不注意より損害を御へ候節は弊店に於て其賠償の責に任じ決して御損失は相掛申間敷候間續々御用被仰付度此段謹告候也
京城南大門通り二丁目二十番戶三浦商店內
有田運送店
店主 有田豐太郎

代書部
一訴狀諸願書申請書類調製
一定款規約書等作成
一登記登錄證明願手續
一外國旅券出願代辨
一官地貸拂下出願代辨
一諸工事殖林等設計
一土地建物鑛山測量製圖
紹介部
一水田宅地鑛山賣買貸借仲介
一電話店舖等讓渡仲介
一船舶其他大物品賣買仲介
一金錢貸借仲介
一債券證券類賣買仲介
一諸大家書畫揮毫紹介
一諸外國語通辨並飜譯
本事務所は誠實を旨とし堅く秘密を守り普通事務は即時解決し依托事件を迅速に成効せしむることを期す
京城本町一丁目(民團役所前)
佐々木事務所

會席御料理

本町八丁目
富士見樓

統監府御用
諸官衙人力車
荷物荷造及運搬
營業 京城曙町(電話七三番)
本店 同本町三丁目(電話四〇番)
伊藤組

銘茶卸小賣 □□茶舖 京城本町□丁目

待合 春日
京城本町一丁目北側 支那領事館前
洋室には琵琶、バイオリン、尺八、笛、月琴、碁、將棋等の備付あり御客樣方の娛樂に任意す

青々園
風味趣味賞質の三者を兼備す
正銘宇治茶京都の茶器
故に尤も進物用に適當なり
京城本町四丁目
茶及茶器商 青々園茶舖

特約販賣自製
大上商店
漬物 味噌 醬油 製造元
京城本町五丁目
(電話二五一番)
和洋酒、◎精酢、穀物麪類、銘茶、鑵詰、乾物荒物食料雜貨、ビール、米糀、煙辛各種特約販賣
尙御望に依り商品切手調進仕候

齒科全般の治療
米國最新式義齒
京城本町六丁目(鍛冶屋横町)
米國齒科醫學博士 女醫 中村安子

諸官衙用御品調達
營業科目
紙類書籍 印刷附屬品 印刷インキ 防腐デシン 穀物食鹽 織物染料 各學校用品調達
幷に委託販賣
東京合資會社 アライアンス商會代理店
橫濱百七番 ビユーム エンドライフ商會代理店
東京 千代田生命保險相互會社代理店
東京 博文館發行書籍特約店
東京 金港堂發行書籍特約店
釜山 臺鹽合資會社食鹽特約店
藤田合名會社
本社 京城明治町二丁目 電話二三〇番
出張所 東京 京橋區南鍋町一丁目 電話新橋三九六二

純良
乳
牛乳元祖
京城大和町一丁目
平山牧場
電話百三十三番

移轉御披露
今般左記の所に移轉す
永樂町貳丁目(赤門通り本町より五軒目)
洋服商 東京塚原支店
原雄吉

株式會社
第一銀行韓國總支店
電話番號
第一番 國庫部、發行部、營業課、當直用
第三番 國庫部、發行部、營業課用
第三番 支配人、調查部、文書課用
第六二番 用度係、分折所用
第三三一番 臨時建築部用

本店 東京市日本橋區兜町
內地支店 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關
出張所 伏見、大阪西區、東京新大阪町
韓國支店 仁川、釜山、元山、鎭南浦、木浦、群山、平壤
出張所 大邱、開城、成興、馬山、城津
清國出張所 安東縣
右の外內外各地重要なる場所には爲替取引先あり營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

建築業
鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣
末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種
京城旭町三丁目 電話五六八
柴田芝之□

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候
資本金 參百萬圓
積立及繰越金 八拾萬圓
京城南大門通
株式會社 十八銀行支店(電話四二〇)
本店 長崎市築町
支店出張所 京城、龍山、仁川、木浦、群山、鎭南浦、元山、釜山 日本 大阪、熊本、五島、佐世保
韓國 其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金
一口壹錢以上何程にても御預り申候(利息日步壹錢四厘)
長崎貯蓄銀行代理店
(十八銀行京城支店)

●いざここ問はん●
我思ふ掛國新聞(三府四十三縣にて發行する)の總てを配達する取次店は有りや無しやご御尋ねの方あらは
唯大成社(本店 京城佛國領事館前 支店 龍山本町參丁目)あるのみご御答可被下候
●我探す店ありや●

純良 牛乳 取次 京城□□ 洋□牧場

日本郵船株式會社
瀛船仁川出帆廣告
貨物及船客取扱店
仁川海岸通 郡回漕店 電話三九番

●釜山長崎門司神戶行
山東丸 二月十二日後三時出帆
●大阪行
高砂丸 二月十六日後一時出帆
●大連、大沽行
山東丸 三月二日前五時出帆
●大連、大沽行
酒田丸 三月四日正午出帆
●釜山出帆、元山、清津、浦鹽行
上川丸 二月二十四日
御注意 御乘船ノ際ハ稅關波止塲ヨリ本船迄送迎船ニテ御送リ可申候送迎船ハ本船出帆ノ約五十分前ニ船解纜ノ事

●新聞料 一枚金二錢▲一ヶ月前金卅五錢▲三ヶ月前金八十錢▲六ヶ月前金一圓五十錢▲拾ヶ月郵税一ヶ月金
●廣告料 五號活字十九字詰一行一回金十五錢 五號活字十九字詰一行金十八錢
發行兼編輯人 秋山忠三郎
印刷人 高木久馬太郎
發行所 京城四大門通 京城新報社 電話六六三